

まちかど ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域の問題をお届けしています。広報広聴課 ☎51-0123 内線2823 へお便りください。

市長への 手紙から

身近な問題を提言する 制度を取り入れて

市を明るく、よくする提言制度を取り入れてください。

この制度があれば、住みよいまちづくりに発展することは確実ですし、自分たちが計画し実施したものだということも生まれます。

〈市長への手紙〉

街を歩いていると、いろいろなことに気がつきます。例えば、街灯があればいいところや、川沿いにフェンスがあったら安全になる場所など。このように、身近で自分たちにもできることや、ちよつと業者に見てもらえば済むことなどを提言する制度を取り入れてください。

市を明るく、よくする提言制度があれば、住みよいまちづくりに発展することは確実ですし、自分たちが計画し実施したものだということも生まれます。また、具体的に内容や件数を発表したり、表彰する制度も考えてほしいと思います。



渡辺源一さん
(天間499-2)

〈市長の答え〉

市長への手紙を読ませていただきました。市を明るく、よくする提言制度は、この市長への手紙がまさにその制度だと考えています。市長への手紙は、年間四百通ほどいただきます。直接の担当課で、提言や要望が実行できるものかどうかを検討し対応しています。

またこのほかに、市政モニター制度もあります。これは、富士市をこんな街にしたいという提言や要望を、モニター会議やモニター通信で寄せていただくものです。

平成五年度のモニターを、三月二十五日まで募集しています。住みよいまちづくりを、皆さんと一緒に考えながら進めたいと思いますので、どうぞご応募ください。なお、表彰については今のところまだ考えておりません。

吉田久雄さん一家の 話してみましよう

ポルトガル語で

(7)

吉田久雄さん一家が住んでいるのは、ブラジルパラナ州。サンパウロから六百キロくらい離れた街でした。季節は日本とは逆で、三月は秋の初めころ。四季はあまりはつきりしませんが、冬は大体六月から八月くらい。霜がおりたり、寒さが急にくる激しい寒波もやつてきます。

そんな寒さの日でも、日中は強い日差しが照りつけて、気温は急上昇。だからこの季節には、風邪を引く人がとても多いのだそうです。

が飛び交い、花粉症で悩む人も多いのですが、ブラジルにも花粉症があるのです。原因は、トウモロコシ。花粉症の季節は、花が咲く十二月ころ。どこまでも続くトウモロコシ畑で、土が見えなくなるほどの花粉が落ちるのだそうです。

トウモロコシ花粉の症状も、杉と全く同じ。鼻水が出たり、くしゃみが出たり、頭が痛くなったり、イライラしたり……。そして、花粉の季節が終われば、症状がピタリとおさまるのも同じです。



▶ 頭が痛い

Dor de cabeça
ドール デ カベッサ

▶ 熱がある (自分か)

Ter (estar com) febre
テール エスタール コン フェーブリ

▶ くしゃみが出る

Estou espirrando
エスター エスピランド

▶ イライラする (神経質になる)

Estou nervoso
エスター ネルボソ